

Taka Gikai

多可町議会だより
2017年(平成29年)8月1日 第47号



6月定例会

- 安全な地域づくりと学びの安心確保 ▶2
- 周辺の住民の健康を守るため承認 ▶4
- こんなとない これどうなるの 11人が一般質問 ▶7
- 18歳選挙権がスタートして2年目 未来の有権者の思いを聞く ▶22

写真：『見つめる先は...』



生徒会副会長
中村 百花さん(2年生)



生徒会会長
安田 和樹さん(2年生)

18歳選挙権がスタートして2年目

未来の有権者の 思いを聞く

今年も多可高校の皆さんを迎え「高校生模擬議会」を開催します。
これに先立ち、多可高校生徒会の会長さん副会長さんにインタビューをしました。

昨年からは18歳選挙権が始まりましたが

安田 若者が早く政治に興味を持つのは良いことだと思います。ただ、ニュースも見ずに、分からないまま選挙することに怖さも感じます。

中村 今回の高校生は、政治にあまり関心がありません。選挙権を持ったらしは興味を持てるのではと思います。

知事選の最中ですが選挙権があれば行きますか

安田 もちろん行きます。テレビの政見放送はたまに見ます。部活の帰りに

宣伝カーに出会いましたが、熱い思いが伝わりました。

中村 私も行きます。テレビなどではあまり分かりませんが、兵庫県のことをより良い県になるように考えてくれる人が良いなと思います。

議会はどんなところが
思えますか

安田 町をより良くするために、いろんな事を決める場所だと思います。

生徒会の仕事は

安田 6月の文化祭は、新旧両会長でしたが、主に旧会長にやっていたきました。

今後の大きな行事は9月の体育祭です。会長としてみんなを引っ張ってきたいです。まとめることの難しさ、引っ張ることの大変さを痛感しています。

将来地元に住みますか

安田 田舎ですと暮らしているの、田舎の方が良いな、住みたいなと思っています。

中村 親もこちらにいるし、離ればなれになるとお互い寂しいと思います。進学するところに行きたいと思っています。

将来は地元に住みたいとお聞きし、うれしく思いました。役員の皆さんで力を合わせ、活発な生徒会活動をされるよう期待しています。(廣畑)

高校生模擬議会

日時 平成29年8月17日
午前9時30分
場所 八千代北
坂本庁舎講堂

☆傍聴にお越しくください。

編集後記

全議員研修で、大分県日田市に伺いました。その時見た景色が、この度の豪雨で酷いことになっていることに心を痛めています。

豪雨災害にあわれた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたしております。

多可町も日田市と同じように人工林の多いところです。災害に備えての対策の重要性を痛感しております。

今年の高校生模擬議会も、若者ならではの質問が出ることでしょう。

昨年の反省から、分かりやすい言葉で答弁をと思っています。

まだまだ暑い日が続きます。熱中症対策を万全にお過ごしください。(廣畑)



安全な地域 学びの

づくりと 安心確保



6月6日から6月23日までの18日間の日程で、第77回多可町議会定例会を開催しました。
定例会では29年度補正予算案のほか、多可町いじめ問題対策委員会設置条例の制定（第三者委員会設置）やそれに伴う補正予算案、下水道条例などの改正案、請願など16案件が提案され、慎重審査した結果、すべての議案を原案のとおり可決・承認・採択しました。

補正

安全な地域づくりと

地域文化への支援

コミュニティ助成事業

補助金

200万円

自主防災組織育成助成事業です。中区牧野の防災倉庫の建設と発電機購入です。

一般コミュニティ

助成事業補助金

250万円

地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指す事業で、中区糀屋の屋台の修繕費です。

傷んだ箇所を修理します

かみ総合福祉センター

部分改修工事実施設計・

監理業務委託料

57万円

配水管が外れたことによる漏水で、傷んだ脱衣場の石膏ボード貼り換えなどをします。

医師住宅清掃業務委託料

50万円

松井診療所の医師交代による住宅改修です。畳替えやクロス貼り換えなどです。

歳出 5・6月補正予算

款	5月補正	6月補正	補正後の額
総務費	△11億1944万円	250万円	23億5596万円
民生費		109万円	30億8669万円
衛生費		203万円	8億5193万円
農林水産業費		21万円	9億5371万円
商工費		57万円	1億9719万円
消防費		273万円	6億1483万円
教育費	359万円	745万円	11億5274万円
諸支出金		1万円	1億981万円
歳出合計	△11億1585万円	1659万円	127億7074万円
特別会計		1447万円	61億1037万円

* 予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

補正後の額は特別会計全会計の合計です。

下水道関連条例を改正

人口減少期を迎え、下水道料金の値上げを抑えるために下水道事業の統合を進めています。

その中で、清水、轟、西山、市原、丹治、大袋、三谷、門村区域のコミュニティ・プラント事業を先に特定環境保全公共下水道事業へと移行しました。

反対論

貴船施設は町だけのものではない

草別 義雄

貴船地区特定環境保全公共下水道施設の内、排水可能な地域を拡大する改正ですと、この施設の建設は地区住民が戸別負担してきたものですから、住民への説明と施設付近の環境の整備をされた上で改正されることを望み反対とします。

賛成討論

貴船地区は対象外

辻 誠一

この改正は、下水道施設の統合に向けた動きの一環です。八千代区の下水処理施設は、統合の対象外です。貴船地区特定環境保全公共下水道施設への排水可能地域は変更されません。



将来統合が計画されている杉原谷地区浄化センター

議会は6月6日、いじめ防止推進法の規定に基づき、多可町いじめ問題対策委員会設置条例を全員賛成で承認しました。
町内の小学5年生の児童が自死した事態を受け、真相究明や、再発防止に生かす、いわゆる「第三者委員会」の設置です。
いじめの防止などは、全ての学校・教職員、家庭、地域が自らの問題として切実に受け止め、徹底して取り組むべき重要な課題です。
議会でも事の重大さから原因究明や、再発防止はもちろんのこと、他の児童の心のケアを含めた速やかな対処が必要なことから「第三者委員会」にすべてを委ねることにしました。

学びの安心と安全確保
中町中学校東渡廊下
改修工事他
550万円
震度6強以上の大規模地震で倒壊する「危険性が高い」とされる、2階

東渡廊下撤去の工事実施設計、また撤去後の耐震評価申請手続きなどに必要な委託料と撤去工事費です。

アスベスト

石綿処理に 8600 万円も追加



周辺住民の

健康を守るため容認



手作業ではがします

また、アスベスト剥離工事が新たに加わったとしても、建設業者は当初予定どおりの工期で完成させるように努力すべきであるし、町はそれを求めるべきではないのか、他に工法は無いのかと議論を重ねましたが、提案された工法が最適であるとの結論になりました。

費用はかかっても近隣住民や作業員の健康を優先すべきアスベストの処理が3カ月以上かかる場合や3カ月未満で終わる可能性もあります。しかし、近隣住民や作業員を健康被害から守るためには必要な予算であることから、賛成多数で原案を可決しました。

費用はかかっても近隣住民や作業員の健康を優先すべき

設計段階で把握できなかったのか

この度の減額は、外壁仕上塗材にアスベストが含まれていることが判明し、この除去に3カ月の期間と、8600万円の追加工費が必要になり、29年度に予定していた工事の一部が、30年度にず

設計段階で把握できなかったのか

驚きの大幅減額提案 予算成立からひと月余り

5月9日に開催された第76回臨時会では、11億1944万円を減額する補正予算が提案されました。

3月議会では、役場新庁舎の建設工事が順調に進んでおり、30年度に予定されていた工事費の一部を29年度に支払う必要もあるとの説明を受け、過去最高額の予算を承認しました。しかし、それからひと月余りで、今度は新庁舎建設が3カ月遅れる見込みであるとの報告を受けました。

れ込むことになったためです。

調査によって、新たに外壁仕上塗材にアスベストが確認されたのが平成29年3月13日。

その後対策を協議した町は、平成28年5月に出された「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿じん飛散防止処理技術指針」に基づいて、もっとも工期が短く、費用を抑えることのできる処理方法を選択することにしました。

議会では、建設業者との契約書の写しやアスベスト含有量調査報告書の提出を求め、この書類を調査しました。

そして、外壁仕上塗材にアスベストが含まれていたことは、当初設計時に分かっていたのではないのか、設計事務所や建設業者には、それを見落としたことについての瑕疵はないのかと指摘し

反対討論

相互で負担すべきである

藤本 英三
昨年5月に「石綿防止技術」の指針が出され、1カ月後に、庁舎の建設と解体の契約締結がされました。指針は法的規制も罰則もないので、石綿処理費用8600万円は建設会社・設計会社・多可町の3者で話し合い、互いに負担すべきです。

賛成討論

住民の健康維持が最優先

笹倉 政芳
平成28年5月に国土交通省より「石綿粉じん飛散防止処理技術指針」が発表され、当初予定していた解体工事の工法と工期の変更が、余儀なくされる状況に至りました。「住民の健康維持」「作業員の安全確保」を最優先に順守すべきです。

作業状況に合わせた処理が妥当

山口 邦政
アスベスト除去は周辺への飛散防止の配慮や工事関係者の安全対策面から、地方公共団体の社会的責務として万全の配慮が必要です。除去作業で工事が遅れるなら、予算および債務負担行為も変更して、整合性を保つのが当然です。



7月10日に開催された第78回臨時会では、工事請負契約の締結を全員賛成で可決しました。

工事請負契約

中町南小学校北校舎ほか
老朽改修工事
1億1556万円

古くなった北校舎の改修工事と照明のLED化、屋内運動場の耐震化工事などです。



次回9月定例会日程

平成29年9月1日

9月29日の予定です。

請願の締切日は

平成29年8月17日です。

こんなとない これどうなってるの



6月定例会での一般質問は、6月20日と21日の2日間にわたって
11人の議員が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、紙面の都合上
カットしている質問があります。

全文は [多可町議会](#)

[検索](#)



質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	若者の活躍を支援せよ	8
山口邦政	太陽光条例は制定しないのか	9
	避難行動要支援者の避難行動支援について（未掲載）	
安田昇司	職員研修の強化が必要	10
	過疎・辺地地域の指定状況は	
廣畑幸子	一時避難だけでなく二次避難訓練も	11
	民営化後の保育士不足への対応は	
橋尾哲夫	いじめ防止条例は必要	12
	自殺対策の充実を	
	なぜ補助金をカットしたのか	
藤本英三	高額すぎるアスベスト処理費用	13
	街路樹の剪定が必要	
笹倉政芳	木材利用の拡大に取り組み	14
	農地保全対策は	
吉田政義	ふるさと納税を考える	15
市位裕文	ふるさと住民票の導入を	16
	身障者1級の人にあつい施策を	
	天船バイパスの工事状況は	
辻 誠一	森林整備にはきっかけが必要	17
	住民の英知を集めた特産品開発を	
日原茂樹	3期目の実績と今後への課題を問う	18
	ひとり親家庭の支援を増やせ	

教職員組合からの請願 委員会では不採択も本会議では採択

5月18日、多可町・西脇市教職員組合から「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について」の請願書が提出されました。

複数の委員から「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度堅持」を2つに分けて採択してはとの意見があり、部分採択してはと委員長提案をしましたが、2つのものは一体不可分であるとの意見が多数を占め、1つのものとして採決することにしました。

意見書

教育は、未来への先行投資です。次世代を担う子どもたちがどこに生まれ育ったとしても、等しく良質な教育が受けられるようにしなければなりません。しかし、日本の教育予算は、GDP比に占める教育費の割合が、少ないです。また、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫しています。

自治体の財政力や保護者の所得の違いによって、子どもたちが受ける「教育水準」に格差があらはなりません。

1. 子どもたちの教育環境改善のために計画的に少人数学級を推進すること。具体的学級規模は35人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

賛成討論

総務文教常任委員会では賛成少数で不採択となりましたが、本会議では賛成多数で請願を採択し意見書を関係機関へ送付しました。

教育の地域間格差が解消される

秋田県、山形県、大阪府の調査でも、少人数学級が学力の向上や、いじめ・不登校などの減少に成果がある結果が出ています。多可町でも40人学級になる可能性がこれ以上引き下げられると、教育格差が出てきます。

第76回多可町議会臨時会 賛否の公表（全員賛成の議案は除く）

番号	案件名	笹倉政芳	安田昇司	藤本英三	大山由郎	山口邦政	吉田政義	橋尾哲夫	日原茂樹	廣畑幸子	草別義雄	市位裕文	辻 誠一	清水俊博
議案第44号	平成29年度兵庫県多可郡多可町一般会計補正予算（第1号）	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	-
議案第45号	工事請負変更契約の締結	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-

第77回多可町議会定例会 賛否の公表（全員賛成の議案は除く）

番号	案件名	笹倉政芳	安田昇司	藤本英三	大山由郎	山口邦政	吉田政義	橋尾哲夫	日原茂樹	廣畑幸子	草別義雄	市位裕文	辻 誠一	清水俊博
議案第48号	多可町下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
議案第49号	多可町コミュニティ・プラント処理施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
議案第50号	多可町下水道処理施設新規加入分担金徴収条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
請願第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	-
発議第8号	35人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	-

○印は賛成、×印は反対。 清水俊博議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。



山口 邦 政 議員

問 太陽光条例は制定しないのか
答 9月議会の提出を約束する

山口 本年2月に突然表面化した加美区鳥羽集落での太陽光施設設置問題は、周辺住民や鳥羽集落などの大勢の声があり、理解ある地権者6人に伝わり、予定されていた立木伐採と太陽光設置申請が取り下げとなり、一応最悪の事態は免れることができました。

この問題を受け、3月議会では町に対し「太陽光発電施設建設に係る条例の制定を求める決議」をいたしました。

また同僚議員からの一般質問の答弁の中で、町長は「7月に施行される兵庫県条例と整合性をとる中で、面積要件を千㎡程度とし、条例を提案します」と明言していました。

ところが、5月22日の生活環境常任委員会での「太陽光発電施設設置にかかる規制について」町の検討された結論は「多可町独自の制度は設けず、

県調和条例の規模引き下げで対応する。対象面積は2千㎡以上で、県条例に盛り込んでもらう」とのものでした。

全国的に太陽光施設設置をめくりトラブルが発生する中、各自自治体で独自の条例を制定する動きが加速しています。

再度、独自条例の制定を求めます。

町長 3月議会での答弁と姿勢は変わっていません。県は下限設定を統一したい意向で、千㎡を考えているようです。

先日の常任委員会での意見を参考に、千㎡以上を県条例で対応します。千㎡未満は、近隣関係者への説明を義務付け、良好な関係を得られることを主眼とした町独自の条例を、9月議会に提案します。



合意の上で設置した太陽光発電



大山 由 郎 議員

問 若者の活躍を支援せよ
答 希望ある挑戦を支援する



懸命に作業する中学生 ートライやるウィーク

大山 ①わが町の継続的発展のためには、一人ひとりの総合的な「力」の養成が必要です。町内に在住・在勤のすべての若者が、それぞれの能力を最大限発揮し活躍するために必要な「力」の養成を強力に進めるべきです。

②キャリア教育の推進が若者の社会的、職業的自立のために大切です。小学校・中学校以降の各段階でも充実させていく必要があり、人材育成のため

の環境整備を推進するべきです。

③若者が安心して生活ができる町を創るために、雇用の創出対策、働く場の充実確保、地元企業で働く若者の活躍を支援する、また未来の地域経済を支える人材の育成支援など、さらに工夫をするべきです。

町長 ①「多可町青年サークル育成助成金」で青年団を支援しています。この事業は、町内での活動やボランティアなどを通じて、若者が地元で定着することを目的としています。青年団は、地域に根差し、地域の活性化へとつながる活動をしています。

今後とも地域と連携をして、わが町で活躍する人材の育成を進めます。

②自立した社会人、職業人として、将来に必要な能力の育成を目指すキャリア教育が必要不可欠です。

小・中学校の段階では、キャリア教育の全体計画を作成して、発達段階に応じた継続的な指導をしています。

28年度から中学一年生を対象に、ふるさとキャリア教育を実施しています。地域に愛着や誇りや夢を持ち、将来多可町で働くことを選択してもらえよう、ふるさと志向力を育んでいきます。

③若者が地元の産業や企業に関心を持ち、自分がやりたい仕事を地元で探せるよう、就職活動の支援をします。

また、商工会と連携し創業塾、事業継承セミナーを開催しています。

このような取り組みを重ねながら、将来の多可町の経済を支える人材育成に取り組めます。



安田 昇 司 議員

問 職員研修の強化が必要

答 研修成果が活かせる仕組みを検討

安田 3月27日に可決した当初予算を、11億2000万円も減額するという常識では考えられない大型補正予算が賛成多数で可決しました。予算に対しての考え方が私は緩慢であると危惧します。役場の書類や予算は常に絶対のものとして、大きな信用、信頼の中で住民の皆さんは見ておられます。まさかが許されるものではありません。しかし、受け取る予算書などの書類にあまりにも多くの間違いがあります。事務が複雑化、専門化したことの影響が、大きく関連しているのではないかと考えます。市町村アカデミーなどでの研修の復活を含め、抜本的な職員研修の必要性を感じます。町長の職員研修に対する見解を求めます。

町長 確かに新庁舎整備事業で大幅な予算の減額をしました。

問 過疎・辺地地域の指定状況は

安田 過疎や辺地の地域指定はどのような状況ですか。加美区は数字を見ますと過疎地域の条件に該当すると思います。合併前の旧町区域の一部指定は無理なのですか。また、過疎が無理なら八千代区小学校の統廃合による辺地集落は増えて

答 辺地は八千代区で5集落が増えないのですか。

町長 加美区は過疎地域の条件に該当します。しかし旧町単位での過疎指定は、残念



小さな集落だけど頑張っています

ながら法律上、無理のことです。辺地集落は加美区6集落、八千代区は6集落から小学校統廃合などで5集落追加となり11集落となっています。条件不利地域への特段の措置を強く求めます。



廣畑 幸子 議員

問 一時避難だけでなく二次避難訓練も

答 当然必要なので実施も考える

廣畑 平成7年の阪神・淡路大震災をはじめ、地震・津波など記憶が薄れることの無い大震災が多く起こっています。今年の8月27日に防災訓練が予定されています。日頃からの訓練は大事なことです。しかし、一時避難訓練だけで無く、大きな地震などを想定して体育館などへの二次避難訓練も必要と考えますが、いかがでしょうか。

町長 8月に防災訓練をします。地震を想定した一時避難を中心とした訓練です。地震発生時に、自らの命を守る行動を確認して頂きたいと思います。大地震発生時の二次避難、そして体育館などでの避難生活を強いられる場合の訓練も、当然必要と思っています。

今回の訓練には入っていませんが、今後は実施したいと考えます。

廣畑 災害時に持ち出す備品のチェックなどができる、多可町独自のチェックリストはありますか。

町長 町独自のものは作成していません。「人と防災未来センター」などが作成しているものを参考にしたいと思っています。

廣畑 「避難所運営ゲーム（ハグ）」などを活用して、避難所生活（例えば体育館）の運営を考えることも大事なのではないですか。

町長 避難所施設に見立てた平面図でするシミュレーション訓練は重要かつ有効な訓練です。今後、研究しながら取り組むたいと考えます。

問 民営化後の保育士不足への対応は

廣畑 本年3月に決まった両キッズランドの民営化。決まった限りは良い状態で移行しなければなりません。しかし、31年度32年度派遣の町正職の4人を除き、11人がキッズランドから離れます。保育士の不足が生じた時、町はどう対応するのですか。

答 スムーズな移行を目指す

教育長 現在の嘱託職員はそれぞれ17人ずついますが、みなさんが残ったとしても、現状両園で11人が不足です。公私連携方式ですので、受け入れの法人だけに任せるのでは無く、町も法人と一緒に早めからの募集や、関係機関への働きかけをして、必要人数を確保したいと思えます。



藤本英三議員

問 高額すぎるアスベスト処理費用
答 周辺住民の健康被害防止は町の責務

藤本 今年5月に旧役場解体に伴うアスベスト処理費用として、8600万円を増額する工事変更契約を結びました。昨年6月に新庁舎建設と旧役場解体工事を含め、約20億2000万円（アスベスト処理費用730万円含む）で西松建設と契約を締結しました。この度の8600万円は、契約1カ月前の昨年5月に出された国土交通



解体が進む旧庁舎

省の独立法人からの指針で、調査を見直したためとの説明でした。確かに周辺住民の健康を考えなければなりません。近々の石綿障害予防規則は平成26年に厚生労働省より規則改正がされています。またこの度の調査報告書には、平成26年の石綿障害予防規則に基づいて記されています。よってこの度の8600万円はあまりにも高額であり、

問 街路樹の剪定が必要
藤本 旧鍛冶屋線の中町中学校付近から旧鍛冶屋駅までの遊歩道の植栽があまりにも茂りすぎです。特に中学校東のメタセコイヤの4本は高木なので、倒れると周辺施設や民家に被害をもたらしか

建設課長 歩行や交通に支障のないように、街路樹の維持管理として、剪定時には枝葉を多く刈り込み、隆起した路面は根切りをして対応をしています。メタセコイヤの4本はシンボルツリーの意味合いもありですので、兵庫県と調整します。



橋尾哲夫議員

問 いじめ防止条例は必要
答 議会と一緒に制定する

橋尾 29年5月2日に小学5年生の女子児童が不幸にも自宅で亡くなりました。絶対にあつてはならないことです。いじめがあつたかどうかは第三者委員会に委ねてその結果を待ちます。二元代表制の観点から「いじめ防止条例」を議員提案として9月定例会に上程します。十分執行部と協議します。
町長 いじめ防止条例は、全ての町民を対象にした条例かは、議会と一緒に調整してやっていきます。
教育長 いじめは子どもたちの人権を著しく侵害し、決して許される行為ではありません。議員も言われた「子どもいじめ防止条例」制定を我々も一緒に進めます。

問 自殺対策の充実を
橋尾 町は28年度から健康福祉課が担当し、特に、若年層を対象に自殺対策強化に取り組んでいます。国の自殺対策基本法より10年遅く実施されました。より充実した対策を実施すること。
答 防止に力を入れる
町長 命は全てに優先します。自殺対策で一番大切なことは、相談を受ける方の意識改革です。研修などを充実させ、自殺防止に取り組みます。
問 なぜ補助金をカットしたのか
橋尾 28年度の老人福祉費は、生きがいと健康づくり助成金として介護保険特別会計から出ていました。29年度は計上されていません。助成金の

町長 「高齢者いきがいと健康づくり事業」の委託料は、国の制度改正で29年度から減額はいつ決定されましたか。町老連や各単老に事前に連絡されましたか。各老人クラブは本年度の予算に計上されています。各会長は大変激怒されています。早急に補正予算を組むと共に各老人クラブなどに謝罪すべきです。
答 卒後移行期間として補正措置したい
町長 「高齢者いきがいと健康づくり事業」の委託料は、国の制度改正で29年度から



百歳体操でみんな元気

「介護予防・日常生活支援総合事業」として町が主体の介護予防事業へと移行しています。しかし、町老連や各支部役員会への説明が不十分で、いろいろとご迷惑をお掛けしたことを大変申し訳なく思います。十分なご理解を得られなかったことを反省し、29年度は、移行期間の措置として議会のご理解を得ながら補正予算で対応したいと考えています。



笹倉 政芳 議員

問 木材利用の拡大に取り組み

答 いろんな知恵を集めてやる

笹倉 多可町は、ヒノキの人工植林を全国で一番早く取り組んだ町と聞いています。そこをPRしながら、林業活性化のモデル地区になれるよう精力的に進めてはどうでしょうか。

また、商工連携室、商工会、県民局や森林組合、木材組合、工務店などに働きかけ、プロジェクトチームを設立して木造製品の開発を進め、木材需要の拡大につなげる取り組みはどうですか。

消防出張所は、大きな空間が必要で、耐火性や耐震構造を考え、鉄骨づくりの平家建てで検討しています。また、今年度は町内産材を使った新たな製品作成の講習会に工務店などの参加を依頼し、販路開拓につなげます。

今後は町内産木材活用に向けていろんな知恵を集め「迷ったらやる」という前向きな姿勢が必要だと思います。内部検討も進め挑戦します。



どこの産地にも引けを取らないヒノキです

答 農業活性化に努める

副町長

農林業公社を農作業の受託や農地保全に主を置くように変更し、農業の活性化に努めることが必要です。基本財産などもありますので、今後設備投資も含めて支援のあり方を検討します。



吉田 政義 議員

問 ふるさと納税を考える

答 9年で2億4104万円の寄附があった

吉田 ふるさと納税は、都市と地方の税収格差を埋める制度であり、故郷や応援したい自治体に寄附すると、2000円を超える部分は、所得税と住民税から還付・控除される制度です。自治体は多くの寄附金を集めようと豪華な返礼品を用意し、寄附金獲得競争が過熱して、税収格差の是正という本来の趣旨から外れているとの批判もあります。

納税は、地方自治体の課税権に反していると思います。多可町の見解は。そして、現在の多可町は、地域住民へのサービスと町外の来訪者やマスコミへのPRサービスのバランスに不安を感じています。町のネームバリューは、地方自治体の課税権に反していると思います。多可町の見解は。そして、現在の多可町は、地域住民へのサービスと町外の来訪者やマスコミへのPRサービスのバランスに不安を感じています。町のネームバリュー

ユーがどれだけ上がったも、多可町に住んでいる人たちの安心・安全や質の高い生活、文化教育の水準が上がるとは思えません。もう少し「多可町ファースト」でもいいのではないかと思います。

町長

町では、平成20年10月から町を応援したい思いのもとに寄せられた寄附金を財源に、固有の歴史、文化および自然を生かした、個性豊かで活力と温もりのある町づくりを目的にふるさと納税を開始しました。20年度が117万円、21年度63万円、27年度からは、返礼品を大幅に更新し、1億2676万円、28年度7737万円です。控除額は28年度123人で、281万円29年度188人で527万円です。

二つ目の質問ですが、平成20年4月に地方税法等の一部を改正する法律の公布により、個人住民税の寄附金制度が拡充され、多可町応援寄附条例を制定しています。「多可町ファースト」という言葉、心にとめます。





辻 誠 一 議員

問 森林整備にはきっかけが必要
答 長期的な展望のもと検討する

辻 西脇市との共同でのごみ処理施設計画の策定作業が進んでいます。このごみ処理施設にバイオマス発電を導入するために必要な「間伐材」が足りないという理由から、計画策定が難航していると聞きました。

伐材が必要ですが、森林簿によれば町全体の蓄材量は187万トンあります。森林組合のシミュレーションでは、森林整備が進めば40%の75万トンが搬出可能とのこと。新施設整備とその運営を民間企業にお願いできれば、建設費用の町費負



需要に追いつかない間伐材

担分をそのまま森林整備費に回すことができます。ごみ処理施設整備を森林整備のきっかけにするべきでは。

旧中町幼稚園の活用は検討課題にします。



市 位 裕 文 議員

問 ふるさと住民票の導入を
答 慎重に検討する

市位 昨年12月に鳥取県日野町は「ふるさと住民票」を導入しました。ゆかりのある人を可視化する取り組みと位置付け、政策へのパブリックコメントに参加してもらい、交流会などを開催、148人が登録しています。故郷を離れた人やふるさと納税の寄付者に住民と同じサービスを提供する制度を提案します。

町長 応援したい自治体に登録をすれば住民料金が公共施設に使えたり、広報紙やイベントの内容などが届けられる制度かと思いますが、全国で3自治体のみの参加です。入会金、年会費やカードの手数料、イベント経費などで年間100万円ほど必要です。慎重に検討をします。

市位 天船バイパスの工事状況は、マイスター工房への来客が多数あり、当該県道は大変危険です。

7月に一期工事が完成、残り区間は9月に着工すると県から聞いています。



急ピッチで進む 天船バイパス



日原茂樹議員

問 3期目の実績と今後の課題を問う
答 やるべきことはやった後は後進に任せたい

日原 町長は、今期を多可町創生の最終盤と位置づけ、持続可能な自治体として、財政基盤の確立をすることが使命であると言われました。町創生に取り組み中、未来ビジョンは描けたのでしょうか。①安心・安全な町づくりはできましたか。②行政改革と財政再建のめどはつきましましたか。③町のトップセールスマンとしての取り組みとその成果は。④教育環境は充実しましたか。⑤役場の職場環境整備と住民サービスの向上ができましたか。⑥強力なリーダーシップを発揮してきましたか。

備などです。②合特債事業や補助事業の有効活用で、財政指標が改善し、主な指定管理施設にめどが付きました。③敬老の日制定50周年の記念式典が秋篠宮両殿下出席のもと、盛大な式典ができました。④全ての小・中学校の耐震化や4、5歳児の保育料を無償化しました。⑤安田のメガソーラーや清水坂、山野部坂トンネルの開通。⑥杉原紙、山田錦、敬老の日を輝かせる取り組み。課題は、新しいごみ処理場の建設、南桃苑の大規模改修、上下水道の広域化と事業統合の取り組みや合特債後の財政安定対策などです。



町長 児童扶養手当、母子家庭等医療

り、ひとり親家庭への支援は、国を挙げて取り組むべき重要な課題です。ひとり親家庭には、経済的な支援など、さまざまな支援が重要であることから、多可町の支援策やひとり親が抱える諸問題について聞きます。

工事に目を光らす

生活環境常任委員会

平成29年6月9日に、現地調査をしました。

◆下三原団地

八千代区下三原団地の外部改修工事が天候の関係などで遅れていましたが完成しました。外部塗装によって新築のようによみがえりました。

川整備の進行状況の説明を受けました。平成30年3月の全線開通を目指し、県にも要望しています。

◆防災棟

多可町役場の新庁舎建て替え工事で、サーバールームや防災無線を設置した新設棟の1期工事が完了しました。

今後は、アスベスト除去作業が順調に進むよう注視していかねければなりません。

校舎の安全を確認する

総務文教常任委員会

平成29年6月8日に、学校施設整備事業の現地調査をしました。

◆中町南小学校

本年度改修予定の北校舎ならびに体育館の状況を視察し、改修工事の概要説明を受けました。

◆中町中学校

震度6強以上の大規模地震で倒壊する「危険性が高い」とされる、中町中学校東側渡り廊下の現地調査です。



中町中学校 東側渡り廊下

- ③屋上防水・外壁塗装
- ②照明設備などの落下防止
- ①玄関部分の天井撤去

◆中町中学校

震度6強以上の大規模地震で倒壊する「危険性が高い」とされる、中町中学校東側渡り廊下の現地調査です。

現在、以前にも報告を受けていた、東側渡り廊下2階部分の立入禁止の措置が続いています。町では、緊急対策として、早急に渡り廊下の2階屋根部分を撤去する方針を打ち出しました。その撤去にかかる工事実施設計、ならびに撤去後の耐震評価申請手続きなどに必要な委託料と撤去工事費の説明を受けました。

う い き



◆天船バイパス 八千代区中村バス停付近の渋滞解消が待たれる、加美八千代線「天船バイパス」と「スゴ谷川」河

- ①普通教室・特別教室の内部改修
- ②階段、手摺り塗装

大分県の先進地に学ぶ

平成29年5月15日~17日

全議員研修



日田市の木工製品

指導もしていました。ブランド品の認定制度では、基準を高くし、大都市圏の百貨店へも納入できるような商品を選定しており、推奨品に選ばれば、市長によるトップセールスがしてもらえます。

日田市 材を活かす

日田市は、市域の82%が山林で、林業高校もあり、昔からの林業の町（スギ70%・ヒノキ17%）です。市内には7つの原木市場と73の製材工場があり、下駄、家具、クラフトなどの木工業も盛んです。平成27年に「日田もリビジョン」を策定し、低迷する日田林業の打開を目指しています。「もりを守り・育てる」「もりを活かす」「もりでつなげる」の3つの施策に分けて、資源・技術・雇

用の循環を目指した主伐・再造林の推進や森林の集約化や団地化を促進しています。また需要拡大・販売体制の強化の取り組みや森林資源の有効活用にも取り組んでいます。担い手の確保や育成にも力を入れており、毎年20人近い新規就業者がいます。森林・林業・木材産業の再クラスター化にも力を入れていて、業界の若手が中心に勉強会をしている「日田木材産業研究会」日田杉を活用したもののづくりを考える「日田スギデザイン会議」など、活発な活動が展開されています。

公共建築物は地元産材の木造が多く、全小中学校の机・椅子は日田スギで造られています。

また宇佐市では、調理が認知症予防につながることを知り、これからは男性ももっと料理をすることが必要だと思えました。

さらに、中津市の特産品開発が高齢者の生きがいづくりの一環として位置付けられていることや、日田市の木工製品の開発の取り組みは、多可町もできることから取り入れるべきだと強く感じた良い研修でした。

5月15日から2泊3日で大分県の4市町へ全議員で視察に行き、次の内容で研修をしました。

日出町 先生との信頼関係が 学力向上のカギ

日出町は、小・中学校共に学力テストで大分県内のトップクラスを維持しています。教育委員会が毎年アクションプランを出し、その中で具体的な数値での達成目標・行動計画を示して、目標管理をしていました。

2学期制は、10月初旬の3連休を前期・後期の境界とし、平成16年より取り組んでいます。メリットは、授業時間が30時間ほど多く確保できる、長期の期間による確かな評価が可能となり、教師の子どもたちに接する余裕ができることです。ただ、大分県ではこの町でのみ実施しているの、対外的行事の日程調整が難しいとの説明でした。

宇佐市 料理づくりで 認知症予防

宇佐市は、社会福祉協議会による認知症予防教室で注目されている市です。教室は小学校区単位で開催されています。説明を受けた後、教室を見学しました。

教室では「週1回みんなで料理・運動をしよう」の合言葉で、計画・実行・結果を出すプログラムとなっていました。午前中に自宅にある野菜などを持ち寄り、足りないものを買いに行く買出し班、下ごしらえをする調理班を決めてみんなで料理をします。昼食後は休憩を挟んで、1時間ほど運動やゲームの時間です。そして、来週の計画を立てて解散します。

中津市 身近な物を 知恵と工夫で商品化

中津市の6次産業推進のキーワードは、

- ① 地域資源の活用
- ② 製品から商品へ
- ③ 産業間、組織間、地域間、世代間の連携
- ④ 1次産業へ適正な所得

- ⑤ 地域住民参加型の取り組み
- ⑥ 高齢者の参画での技術伝承
- ⑦ 高齢者の生きがいづくり

組織・人づくりに力を入れており、事業者・起業家、世帯間、地域間の交流を深め、後継者の発掘をするために、6次産業創生ネットワーク会議を3カ月に1回開催し、フードコーディネーターや活性化の専門家による



認知症対策の体操を実践中

まとめ

今回の視察は、福祉から教育・地域振興まで多岐に渡る研修になりました。

特に日出町の2学期制導入による教育時間の増加、先生の負担軽減は、勉強になるところが多かったです。

また宇佐市では、調理が認知症予防につながることを知り、これからは男性ももっと料理をすることが必要だと思えました。

さらに、中津市の特産品開発が高齢者の生きがいづくりの一環として位置付けられていることや、日田市の木工製品の開発の取り組みは、多可町もできることから取り入れるべきだと強く感じた良い研修でした。